

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【公開番号】特開2006-6767(P2006-6767A)

【公開日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2006-002

【出願番号】特願2004-190711(P2004-190711)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月22日(2008.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

球入口と、該球入口から入った遊技球が通過すると特定遊技となる特典が遊技者に与えられる特定球通過領域と、前記球入口から入った遊技球が通過しても特定遊技となる特典は与えられない一般球通過領域と、前記球入口から入った遊技球が前記特定球通過領域又は一般球通過領域に至るまでの複数の球誘導経路を形成する球振分装置とを有する入賞装置を備えた遊技機であって、

前記球振分装置は、前記複数の球誘導経路の主要部を形成すべく、相上下して配置された上部及び下部の2つの球振分体と、前記球入口に入った遊技球を前記上部球振分体に誘導する第1球通路と、前記上部球振分体に対する相対位置の変化により球誘導経路が変化されて、前記球入口に入った遊技球を前記上部又は下部のいずれかの球振分体に確定的に又は選択的に誘導する第2球通路とを備え、

前記下部球振分体は、前記特定球通過領域への球誘導確率が異なる複数の領域に区分され、前記複数の領域は、上部球振分体から下部球振分体に遊技球が誘導される第1領域と、第2球通路から直接に下部球振分体に遊技球が誘導される第2領域とによって構成され、下部球振分体に対する球誘導経路によって遊技球が前記第1又は第2の領域に誘導されることにより特定球通過領域に対する球誘導確率が変化するように構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1記載の遊技機であって、

上部球振分体は、上下動する構成であって、第2球通路から上部又は下部のいずれの球振分体へ遊技球が誘導されるかは、上部球振分体の上下方向に沿った位置によりほぼ定められる構成であることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1記載の遊技機であって、

上部球振分体は、定位置で回転して、周壁部の周方向に沿って所定間隔をおいて第2球通路からの遊技球を通過させる球通過溝が形成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の遊技機であって、

下部球振分体の複数の領域は、その内外方向に沿って区分されたリング状に形成されて
いることを特徴とする遊技機。